

単式蒸留しょうちゅう製造業の概況

（平成27年度分）

福岡国税局及び熊本国税局管内に住所地又は本店所在地があり、単式蒸留しょうちゅうの製造免許（試験製造免許を除く。）を有している者（平成27年10月1日現在。共同びん詰法人を含む。）を対象にアンケート調査を行い、その集計結果を取りまとめた。

○ 調査対象期間

法人については平成27年10月1日直前終了事業年度分とし、個人については平成26年分とした。

○ 各表の注意事項

- （1）各表の計数は、単位未満を四捨五入しているので、表の内容と計又は合計が一致しない場合がある。
- （2）単位未満の計数は「0」、該当する計数のない場合は「－」と表示している。
- （3）共同びん詰法人以外の者のうち、単式蒸留しょうちゅうの売上高が全体の売上高の50%以上である者を「専業者」とし、それ以外の者を「兼業者」としている。

平成28年12月

国税庁課税部酒税課

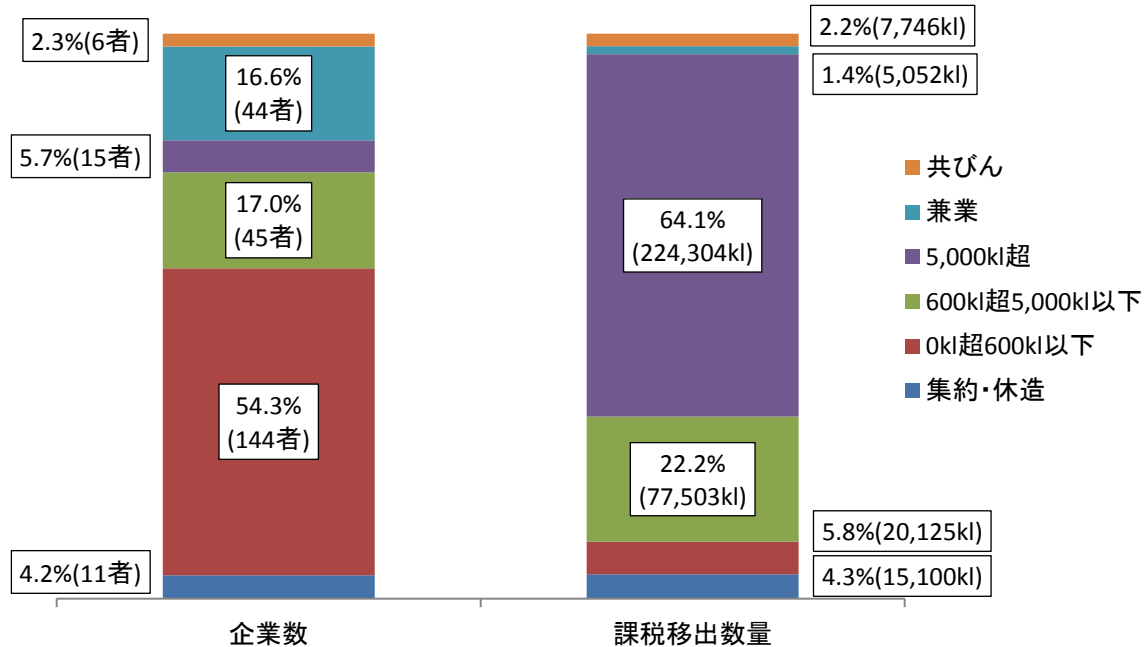
○ 調査結果の概要

1 企業数及び課税移出数量構成比

調査対象者274者に対し、回答者は265者（96.7%）であり、回答者のうち専門の者は215者（81.1%）であった。

課税移出数量の構成比では、製成数量5,000kl超の専門家（15者）で課税移出数量の64.1%（224,304kl）を占めている。（図表1）

図表 1

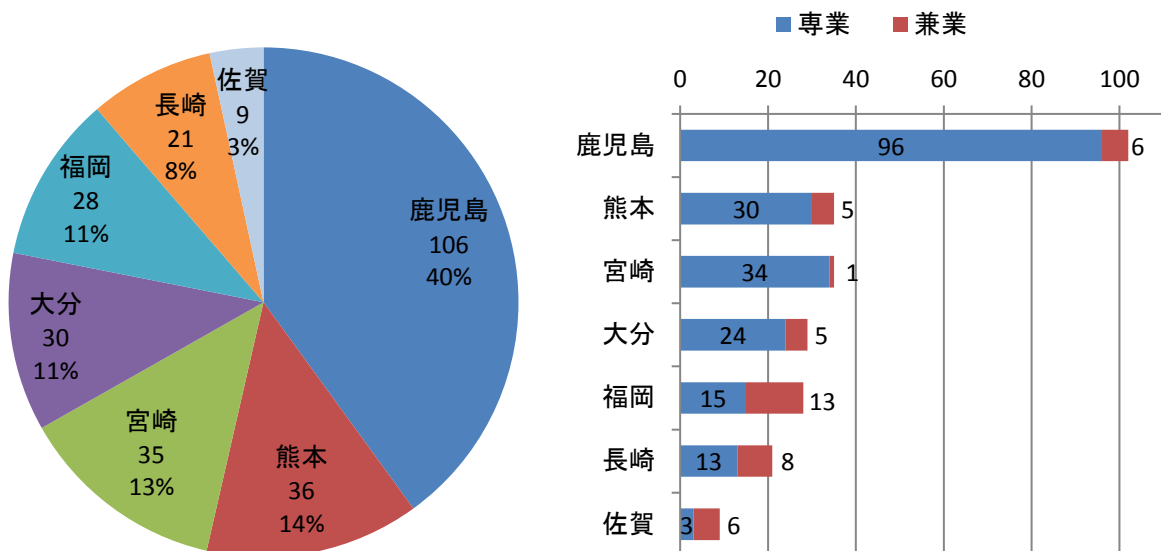


2 県別企業数

鹿児島県の企業数が最も多く、全体の40%（106者）を占めている。

県ごとに専門、兼業者の割合を見ると、福岡県、佐賀県及び長崎県では兼業者の割合が比較的高い。（図表2）

図表 2



（注）専門、兼業者には共同びん詰法人は含まない。

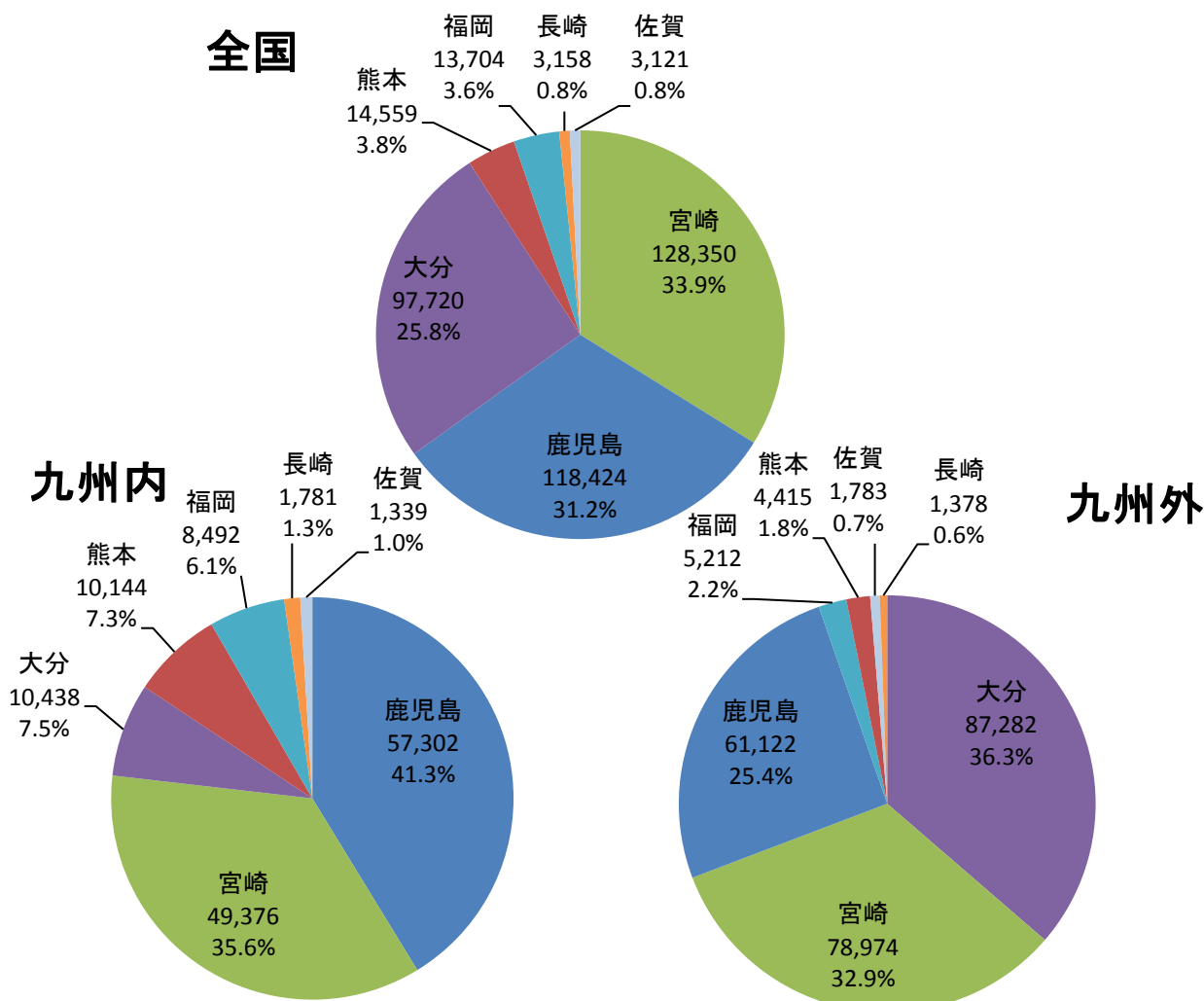
3 地域別移出数量

移出数量が最も多いのは宮崎県で、全体の33.9%（128,350kl）を占めている。

九州内への移出数量は、57,302kl（41.3%）で鹿児島県が最も多く、九州外への移出数量は、87,282kl（36.3%）で大分県が最も多い。（図表3）

移出数量の割合では、自県内の割合が最も高いのは福岡県（61.2%）で、九州内への移出の割合が最も高いのは熊本県（69.7%）、九州外への割合が最も高いのは大分県（89.3%）となっている。（図表4）

図表3 地域別移出数量（kl）



図表4 地域別移出数量割合

